

平成27年度 第3回 大社地域協議会 議事要旨

(日 時) 平成28年3月17日(木) 16:00～17:20

(場 所) 大社支所3階301会議室

(出席委員)

入江紀久男	室家隆一	和田秀穂	黒目光正	足立幹男
矢利安雄	田中積夫	松本俊憲	曾田利広	糸賀修也
久家 彰	高橋 勇			

(出雲市出席者)

大社支所 支所長 加村健悟	大社支所 副支所長 原 孝	大社支所市民サービス課 課長補佐 中島恵司	大社消防署 副署長 安田 晃
大社支所市民サービス課 課長補佐 藤原 基	大社支所市民サービス課 主任 立花裕行		

1. 会長あいさつ
2. 支所長あいさつ
3. 議事

(1)堀川プレジャーボート対策協議会について【大社支所市民サービス課】

【委 員】沈んだ船はどうされるのか。

【 市 】船舶所有者が不明の沈没船等は簡易代執行で撤去済み。所有者がわかっている船は、島根県が所有者訪問や通知等を行い、撤去するよう求めている。

【委 員】県が主管だが、何か疑義や問題があれば大社支所を通したほうがよいか。

【 市 】何か地元から話があれば大社支所をお願いしたい。

【委 員】もし、大雨が降って船が流されて橋の橋脚に引っかかった場合、水があふれるとたいへんな災害が発生する。

【委 員】平成35年までには船を撤去するということか。それまでは様子を伺うだけか。

【 市 】暫定係留区域を定め、重点地区から船を移動してもらう。使用料を徴収し、民間資金とあわせて平成35年までにやっていくという計画。

【委 員】プロセスの経過報告は、大社支所から地域住民代表に連絡報告があるか。

【 市 】県が発行する「堀川便り」で逐次情報提供に努める。

【委 員】係留している全部の船から徴収するか。

【 市 】船を留めた人から徴収する。民間施設よりも高い値段で徴収するという考え方。

【委 員】実施計画はいつできるのか。以前は住民運動も重要という話があったが。

【 市 】昨年10月の基本計画案の決定をうけ、間もなく実施計画を作成する予定となっているのでお示しできると思う。

大社地域での取り組みを進めてほしいということで、清掃活動等を行っていただいている。機会ごとに情報発信してほしいという要請がある。

(2)一畑バス「うさぎ線」の運行について【大社支所市民サービス課】

【市】昨年12月に、一畑バスから、「うさぎ線」の運行撤退の意向が示された。

市は、うさぎ線は必要との考え方のもと、今後の運行については、「うさぎ線運航協議会」で協議中。今年度の1便当たりの利用者率は1.7人。

今後の運行予定（案）

委託業者：市内の交通事業者がよいと考える

運行便数：現状と同じ

車両：9人乗り

経路：大社支所～中山経由で鷺浦、鶯峠、猪目

運賃：現行運賃と同じだが、中山からの運賃は調整中。

日程：平成29年4月から運行開始予定

【委員】地元としては、異論は出ていない。

【市】市道鷺浦宮内線は倒木やがけ崩れがある。積雪時は今も中山経由で運行している。安全に配慮して中山経由がよいと考える。

(3)平成27年度一般会計3月補正予算及び平成28年度一般会計予算の概要について【大社支所市民サービス課】

【市】平成28年度は「出雲未来図」前期基本計画の最終年度かつ行財政改革集中改革期間の最終年度。「まち・ひと・仕事創生」における人口減少対策や雇用対策に積極的に取り組み、シティセールス事業などによる出雲の魅力を発信することによって、「住みたい出雲」「住み続けたい出雲」の実現をめざし、選択と集中によるメリハリのある予算編成を行った。

<大社地域に関係するもの>

- 幹線市道整備10ヵ年計画 下遙堪22号線
- 街路整備事業 県道神門通り線
- 生活環境道路改良事業 杵築：4か所、荒木：5か所、遙堪：2か所、日御碕：1か所
- 生活環境下水路改良事業 遙堪：4か所
- デジタル式防災行政無線外部スピーカを設置
- 町民グラウンドへのバックネット設置
- 大社野外劇場：取り壊し予算化。ほっとうたほ：継続して市が管理
- 大社中学校普通教室にエアコン設置予定 など

- 【委員】平田消防署の整備が終わり、次は大社だと思うが、調査費等は計上されていないか。
- 【市】施政方針で市長が検討すると述べているが予算化はされていない。
- 【委員】宇迦橋から吉兆館交差点までの県道神門通り線整備事業は、予算化の説明があった。昨年、神門通り100周年事業で旧大社駅からパレードを行った。旧大社駅から吉兆館交差点までは市道である。この路線を神門通りと同じような整備は難しいかもしれないが、神迎えの道のようにカラー舗装等の美装化をやって神門通りと一体感がないといけないと思う。大社地域協議会の意見としてまとめれば、駅通りの美装化を早く推進してもらいたい。大社駅交流ネットワークという団体もできており、機会あるごとに市に要望したほうがよい。何も言わないとずっとできないと思う。
- 【市】舗装の方法はいろいろある。神迎えの道は暖色系。古代出雲歴史博物館の横の道は、洗い出しをしてカッターで筋目を入れたもの。
- 【委員】地元、大社駅交流ネットワークや大社地域協議会が声をあげていくことによって実現が早くなるのではないか。地域協議会はあと1年でおしまいとなる。美装化について、大社地域協議会の最後の仕事としてアピールしたいと思っている。
- 【会長】旧大社駅も多くの方に見ていただきたい。金が無い無いばかりでは、5年先、10年先遷宮効果が続くとも考えられない。受入体制を整えていくべき。せめて駅通りの美装化だけでも大社地域協議会として要請したいと思う。
- 【市】地域協議会は要望を行う団体ではないため、自治協会や商工会等の団体が意を汲んで要望を出されるほうがよい。地域協議会として要望はできない。
- 【委員】要望ではなくて、意見を述べるということで提出すればよいのではないか。
- 【会長】自治協会名で要望書を出すということでみなさんよろしいか。
- 【委員】これから受け皿は自治協会なのだから、自治協会連合会がまちづくりの一環として要望すべきことは要望するというふうに今話を聞いていた。
- 【委員】地域経済団体と市との意見交換会で美装化の話は出している。地元からの要望等が出てないと意見は意見として承知おくという程度で流れてしまうと思う。自治協会や商工会がタイアップして動いたほうがよいと思う。

(4)平成27年度大社地域協議会の事業報告・決算見込み額について【大社支所市民サービス課】

【市】

＜①大社地域まちづくりフォーラム＞

地域協議会が廃止されるのに伴い、今後のまちづくりの推進方法を検討するために自治協会やコミュニティセンター連絡協議会と連携して、大社地域まちづくりフォーラムを開催した。

第1回：島根大学教育学部の作野教授による講演会を実施した。

第2回：ワークショップを開催し、まちの魅力や課題を洗い出した。

平成27年度 第3回 大社地域協議会 議事要旨

第3回：ワークショップ参加者を中心として、今後のフォーラムは実行委員会を作って運営しようということになり、12月と1月に実行委員会が行われた。荒木コミュニティセンター長を実行委員長として企画を練り、1月に第3回の大社地域まちづくりフォーラムが実施された。

第1部では5名の方が「今を語り」、第2部では5名のパネラーが「未来を描く」パネルディスカッションが行われた。

2月末には、30名ほどが集まり、今後のまちづくりに向けての思いを語る会を行った。

<②堀川清掃事業>

10月には、沿川住民の方にもお出かけいただき、支所前から堀川河口付近までの堀川清掃事業を実施した。軽トラック1.5台分のゴミを回収した。

<③平成の大遷宮看板撤去事業>

支所庁舎老朽化による手摺撤去工事のため、平成の大遷宮看板を撤去した。

(5)平成28年度大社地域協議会の事業について

【市】事務局案

- ・まちづくりフォーラム事業
- ・堀川清掃事業

【委員】平成27年度にまちづくりフォーラム実行委員会が、若い人、Iターン者、シニアの方などで立ち上がった。これが来年度は何も活動無しとなつてはまずいという気がしている。こういう方々のエネルギーを大事にしていきたい。

そこで、大社地域協議会で作成した『まちづくり計画』を、実行委員会の皆さんにもじっくり読んでもらい、自分たちが活かしていけるものがありはしないかという摺合せをしては。27年度は、各地域にこんな方が活躍しているんだということがわかった。大社地域の各地域のいいものを知ることが大事だし、人とのつながり、各地区のいい物産があることを私達が知ることが大事だ。自治協会や大社地域協議会と同じように、まちづくりの実行部隊も育ててほしいと思う。よろしくお願ひします。

(閉 会)